

2020年4月21日

DIT、デルタマスシティのホテルに「見守りサービス」を提供
～IoTを活用し、有事にも安心・安全な環境を～

デジタルインスティンクツ・テクノロジー（PT. Digitalinstincts Teknologi 本社：インドネシア、以下「DIT」）は、このたび、IoTを活用したタブレット型の見守りサービス“Traxia Solace（以下「ソレイス」）”を開発、DITに出資する双日株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤本昌義、以下「双日」）や、在インドネシア日本大使館（以下「日本大使館」）、および、日本貿易振興機構（以下「ジェトロ」）による協力の下、デルタマスシティ内のサクラ パーク ホテル アンド レジデンス（以下「サクラパークホテル」）向けに、ソレイスの採用が決まりました。

ホテルの宿泊客は、高精細ビデオ通話機能を備えたソレイスを通じて、緊急時に24時間体制のコールセンター（非医療従事者）に自動でつながり、食料など生活必需品の常時調達も可能となります。サクラパークホテルには、1フロア（36室）からサービス提供を開始、その後、宿泊客の要望に応じ、順次全フロア（全106室）に設置していきます。

また、近い将来には医療従事者による遠隔診断や現場サポートも追加していく予定です。

新型コロナウイルスの感染が世界的に拡散し、インドネシアでも病床が不足、一般診療の受診も困難になりつつある中、駐在員やホテルを利用する外国からの渡航者は自宅やホテルにて待機せざるを得ない状況で、同サービスに対するニーズが高まっています。

ソレイスは、IoTプラットフォーム“TRAXIA”(*)をベースに開発されたもので、DITは、これまでも同プラットフォームを使用し、数々のシステムを開発、国内外の企業にサービスを提供しながら、社会が抱える課題を解決してきました。

今後とも、DITは、双日が持つ国内外の幅広いネットワークと知見を活用し、日本、インドネシア他のベンチャーと連携しながら、サービスの更なる向上とともに、より豊かな社会の実現に貢献していきます。

(*) DITが独自に開発したクラウド型のIoTプラットフォーム。GPS機器やスマートフォン、タブレット等から収集したデータをクラウド上に蓄積、顧客のニーズに応じて分析・可視化するIoT環境を短期間で構築でき、運用開始後も新たなサービス・機能を柔軟に追加できます。これまでタクシーやトラック、バス、船舶、建設機械等、様々な分野で導入実績があります。

以上

(ご参考) ソレイスの基本サービス機能

Connect	Support	Information
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 顔認証でログイン ▶ 見守りレベルの設定。「高」設定時の動作は以下 ▶ 所定時間毎に音でお知らせし、リアクション確認 ▶ リアクションがない場合はコールセンターに通知・チケット発行 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 24時間体制のコールセンター（非医療従事者）が待機 ▶ チケット受領時に電話やカメラ映像で状況を確認。 ▶ 必要に応じ次のレベル（ホテル、企業、家族・知人）に通知 ▶ 食事他のコンサルジュサービス 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ コロナ関係情報サイト、政府（日・尼）の最新方針のWEB閲覧サービス ▶ 近郊の登録レストラン、ショップで必要なものをオーダー(*) ▶ GRABと連動し、GRABドライバーが購入しお届け(*)

(*) 将来機能



タブレットのトップ画面



みまもり環境

【リリースに関する問い合わせ】

PT. Digitalinstincts Teknologi

(日本語) 窪山 祐蔵

email: kuboyama@dit.co.id

(インドネシア語) Jehan Siti Aisyah

email: jehan@dit.co.id